

大蔵山～菅名岳山行記録



目的地	大蔵山～菅名岳	期 日	平成17年4月17日(日)
山人	笠原正雄・澄子	特 記	スノーシューを使って見る。

地点名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前5:50発	曇	R403からR290に行く。
いずみの里 P	7:05～7:30	〃	先着の車数台有り。林道に行く。
登 山 口	7:45	〃	沢コースを右に見て階段コースに行く。杉林、やや急登。
1 合 目	8:05	〃	道は乾いていて歩き易い。1枚脱ぐ。8:20から5分休む。
大蔵山 2.9km	8:25	〃	どっばら沢への道を左に見送り尾根道となる。
4 合 目	8:45	〃	この手前から風強く1枚着直す。数人休憩中。沢コースと合せる地点。ここを過ぎると時折残雪の道となる。
6 合 目	9:00～9:15	〃	少し食べる。数パーティーが追い越して行く。
8 合 目	9:35	〃	ここまで来れば雪上歩行。山頂の人が見える。菅名と鳴沢峰が見える。そしてその先に五頭の山もしっかり見える。
大 蔵 山	9:50～10:05	〃	阿賀野川と早出川が良く見える。粟・守門もしっかり見える。ワカンとスノーシューをつける。少し先の小屋は屋根のみが雪の上に出ている。
最低鞍部	10:40	〃	上から見ると痩せているが、現場は難は無い。風やや強し。この後、村松側からガスが上がって来た。のぼり返しはブナ林となる。
菅 名 山 頂	11:10	〃	ガスがますます濃くなり、視界不良となる。鳴沢峰へ向かう男一人。ナビで丸山尾根方向を確認して進む。すぐ急な下りとなりシューでは困難、外す。踏み跡の硬い雪は滑り易い。側道をキックステップで下る。
7 合 目	11:50～12:10	〃	ザックに入れたシューの収まりが悪く直す。雪道と夏道混在。
椿 平	12:10～1:05	〃	雪の無いところに腰を下ろして昼食。風もなくなる。数パーティーも下りて来てここで昼食を摂る。
5 合 目	1:15	〃	雪道と夏道が混ざり、泥んこ道。杉林に入れば乾いた道となる。
巾 沢 分 岐	1:25	〃	道標に従い左へ。5分急降下でどっばら沢へ降りる。沢に沿って下る。
林 道 終 点	1:40	〃	砂利道の林道を下る。
登 山 口	2:00	〃	曇っているが暖かく穏やか。頂上はガスがかかって見えない。
いずみの里 P	2:10	〃	朝より車は多い。
与 板 着	4:40	〃	村松でメダカ煮を買う。寺泊に寄り道して晩げの魚購入。

小山田のエドヒガン桜を見たいと思い、次週は都合がつかないので今日を計画し、妻と出かけた。7年前の4月10日もそうだったが、やはり1週間ほど早過ぎたようだ。(今年は雪が多かったのが特に春が遅い。)

今年に入ってずっと雪道歩きばかりだったが、今日は半分くらいが夏道歩きだった。しかし雪質も変わってきていて、これまでと比べるとあまり楽しくない。春が進んだことと標高の低さであろう。またスノーシューをYHCから借りて試してみたが、担ぎ上げるに重過ぎるし、斜度の道は歩き難い。ワカンの方が俺の山行スタイルに合っている。

妻は久しぶりの山行であったが、あいにくの曇天・風・ガスで、今年に入っての山行中、一番条件が良くなかった。コースは丸山尾根より大蔵尾根の方が、景色、路面とも良い。また、頂での展望も大蔵の方が良いようだ。